



平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 株式会社 省電舎
コード番号 1711 URL <http://www.shodensya.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川上 光一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 嘉納 毅

TEL 03-6821-0004

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,233		72		81		87	
23年3月期第3四半期								

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 87百万円 (%) 23年3月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	11,894.37	
23年3月期第3四半期		

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失のため記載していません。

2. 平成24年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第3四半期	1,149	362	31.0	48,595.01
23年3月期				

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 356百万円 23年3月期 百万円

(注) 平成24年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		0.00		0.00	0.00
24年3月期		0.00			
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,500		20		5		0		0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ドライ・イー株式会社、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	7,328 株	23年3月期	7,328 株
期末自己株式数	24年3月期3Q	株	23年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	7,328 株	23年3月期3Q	7,328 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により多くの企業で寸断されていたサプライチェーンの復旧により持ち直し傾向にあったものの、年末にかけて回復のペースは鈍化し、また、欧州債務危機の再燃、円高の長期化、原発事故収拾への不安及び電力供給事情の悪化等依然として先行き不透明な状況は変わらず推移しました。

電力供給事情が改善されない状況は、大口需要家から個人まで国内全国規模で省エネルギー意識を高めることとなりました。

このような状況の中、当社グループはエネルギー関連事業を引き続き推進して参りました。当社グループの顧客である事業会社は省エネルギー意識は高まっているものの、今後の景気が不透明なままでもあり、設備投資意欲は回復しない状況が続いております。第1四半期においては顧客企業からの発電機ニーズが高まり、海外製の発電機の販売にも着手致しましたが、一貫して事業会社の節電ニーズに対応するため従来より展開しております省エネルギー事業を軸に営業展開しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,233百万円、営業損失72百万円、経常損失81百万円、四半期純損失87百万円となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(省エネルギー関連事業)

省エネルギー関連事業におきましては、上述の状況の中、事業を推進しており、売上高1,233百万円、セグメント損失（営業損失）は69百万円となりました。

(再生可能エネルギー事業)

再生可能エネルギー事業におきましては、当事業を推進する連結子会社を平成23年12月1日に設立し、営業活動を開始しましたが当第3四半期連結累計期間において売上高は発生しておらず、販売費及び一般管理費のみ発生しております。結果、セグメント損失（営業損失）は3百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,149百万円となりました。その主な内訳は現金及び預金264百万円、受取手形及び売掛金354百万円、原材料236百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は786百万円となりました。その主な内訳は短期借入金300百万円、未払金243百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は362百万円となりました。その主な内訳は資本金616百万円、資本剰余金423百万円、利益剰余金△683百万円等であります。

なお、当第3四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、損失計上の結果となっているものの概ね計画通りに推移しており、「平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」（平成23年11月14日）において発表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、当社100%出資によりドライ・イー株式会社を設立し、同社を子会社化しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成23年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	264,897
受取手形及び売掛金	354,438
原材料	236,479
未成事業支出金	66,924
その他	52,645
貸倒引当金	5,030
流動資産合計	970,356
固定資産	
有形固定資産	51,719
無形固定資産	3,188
投資その他の資産	
投資有価証券	66,787
その他	149,725
貸倒引当金	92,393
投資その他の資産合計	124,119
固定資産合計	179,027
資産合計	1,149,383
負債の部	
流動負債	
買掛金	21,811
短期借入金	300,000
未払金	243,205
未払法人税等	1,203
メンテナンス費用引当金	10,341
その他	100,650
流動負債合計	677,213
固定負債	
長期未払金	19,693
その他	89,919
固定負債合計	109,612
負債合計	786,825

当第3四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	616,020
資本剰余金	423,200
利益剰余金	683,236
株主資本合計	355,983
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	120
その他の包括利益累計額合計	120
新株予約権	6,453
純資産合計	362,557
負債純資産合計	1,149,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,233,183
売上原価	1,023,358
売上総利益	209,825
販売費及び一般管理費	282,638
営業損失()	72,813
営業外収益	
受取利息	1,746
受取手数料	1,737
受取リース料	1,817
その他	1,321
営業外収益合計	6,622
営業外費用	
支払利息	5,492
為替差損	4,866
その他	4,894
営業外費用合計	15,254
経常損失()	81,444
特別利益	
新株予約権戻入益	1,259
特別利益合計	1,259
特別損失	
特別退職金	4,349
ゴルフ会員権評価損	1,900
特別損失合計	6,249
税金等調整前四半期純損失()	86,434
法人税、住民税及び事業税	727
法人税等合計	727
少数株主損益調整前四半期純損失()	87,161
四半期純損失()	87,161

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(株)省電舎(1711) 平成24年3月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年12月31日)

少数株主損益調整前四半期純損失()	87,161
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	35
その他の包括利益合計	35
四半期包括利益	87,126
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	87,126
少数株主に係る四半期包括利益	-

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは事業別のセグメントから構成されており、省エネルギー関連事業及びその付帯事業を推進する「省エネルギー関連事業」、及び再生可能エネルギー設備導入における企画、設計、販売、施工及びコンサルティング事業を推進する「再生可能エネルギー事業」の二つを報告セグメントとしております。

(2) 各セグメントに属する製品及びサービスの内容

「省エネルギー関連事業」は、顧客企業の省エネルギー化計画の調査からプランの作成、設計・施工、効果の検証までを一貫して行うエスコ事業を中心とし、各種省エネルギー化製商品の販売等も行っております。

「再生可能エネルギー事業」は、バイオガスパラント等再生可能エネルギー設備導入における企画、設計、販売、施工及びコンサルティング事業を推進しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	省エネルギー 関連事業	再生可能 エネルギー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,233,183	—	1,233,183	—	1,233,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,233,183	—	1,233,183	—	1,233,183
セグメント損失(△)	△69,062	△3,750	△72,813	—	△72,813

(注)セグメント損失と四半期連結損益計算書の営業損失との差異はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の事業は、省エネルギー関連事業及びこの付随事業の単一セグメントであります。当第3四半期連結会計期間に再生可能エネルギー設備導入における企画、設計、販売、施工及びコンサルティング事業を行うドライ・イー株式会社を新規設立したため、本事業を「再生可能エネルギー事業」として報告セグメントに追加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。